

「2019年 職業性疾患 学習会」の開催あんない
～「腰痛診療ガイドライン2019版」の前進点と課題～

2019年10月20日

会員ならびに職業病対策担当の皆様へ

職業性疾患・疫学リサーチセンター
理事長 水嶋 潔

労働者の職業性疾患・健康に関わる諸問題解決のために、ご奮闘されている会員・担当者の皆さんに敬意を表します。

さて、職業性疾患・疫学リサーチセンターでは、過労性疾患の被害の実態と救済の道筋などについて学ぶ学習会を昨年に引き続き開催することとしました。あわせて「シリカ暴露と肺がん」についても理解を深め、今後の運動に役立てていきたいと考えています。会員だけでなく多くの方々にも参加の声掛けをいただければ幸いです。

記

1. 報告

(1) 「腰痛診療ガイドライン改訂！2012⇒2019」 渡邊 靖之 副理事長

主な内容：非特異的腰痛＝心因性を85%とするとしてもないガイドラインから、山口県整形外科医の調査研究によって特異的腰痛(原因の明らかな腰痛)78%、非特異的腰痛22%という認識へ前進があった。自浄作用であった。だが、整形外科診断法にはまだ残された大きな問題がある。それは診断的ブロック療法では把握できない広範囲筋膜性疼痛や、リウマチ性多発筋痛症(PMR)などである。なによりも症状・障害のあるところには何らかの病態があるはずだと診断を探索する姿勢が重要。安易に心因論に走るのが最大の弱点。

(3) ケーススタディ；股関節捻挫後の難治性疼痛・障害の43歳女性

静岡県働くもの安全と健康を守るセンター 相曾 茂 氏
反射性交感神経性ジストロフィー(RSD)が疑われたが、確定診断に至らず、労災は業務外となった。

(2) 「シリカ暴露と肺がん」 ひらの亀戸ひまわり診療所 毛利 一平 所長

ーシリカの発がん性は如何にして認識されるようになったかー
主な内容：じん肺に合併する肺がんがどのようにして認められるようになったか、医学的・政策的な経過を振り返る。

2. 日程

12月8日(日) 午後3時より開会し約2時間、終了後に忘年会

3. 会場

建設プラザかながわ(神奈川県建設労連会館) 横浜市神奈川区東神奈川2-19-3
最寄り駅：JR「東神奈川」駅下車徒歩3、京急「仲木戸」駅下車3分

4. 会費について

学習会は無料です。従来の範囲にこだわらず労災掘り起しの運動に携わる多くの方々に参加を呼びかけてください。(会場の収容人員は80人程度)

なお、学習会終了後、会費1,000円にて忘年会を開催します。

※1 資料の準備の関係から裏面の参加申込書にて11月30日までに申し込みをお願いします。

※2 また、往復はがきで参加を申し込まれた方は、必要ありません。

以上

職業性疾患・疫学リサーチセンター

「2018年 職業性疾患 学習会」参加者申込書

～「腰痛診療ガイドライン2019版の前進点と課題」～

注記：往復はがきにて申し込みをされている方はこの申込書は必要ありません

① 12月8日（日）の学習会に

参加します ・ 欠席します

② 学習会後の忘年会に

参加します ・ 欠席します

どちらかを○で囲んでファックスもしくはメールにて返送ください。

団体・氏名 _____

忘年会に参加する人数 _____ 人

FAX: 03-5879-9084

mail: info@oe-rc.jp

//////////////////////////////////// 会場案内 //////////////////////////////////////

建設プラザかながわ（神奈川県建設労連会館）

横浜市神奈川区東神奈川 2-19-3

